

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 3月 24日				
ロザリオ発達支援センター ふたば保育園 (児童発達支援)						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	○自立課題を取り入れてから、用途を区分けしたことにより狭く感じる ○自立課題と他の活動のスペースがある	今のスペースで支援できるように工夫し、安全に過ごせるように改善していきたいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	○看護師の配置が必要。現在は、他施設より協力支援にて行っている ○一対一で支援できている ○基準以上の職員を配置しています	看護師を配置できるように検討していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	○セラーマットの色分けで、活動する場所、食事の場所と提示している ○構造化されています。またバリアフリー化されています。また、情報も絵カードなどでわかりやすくしてあります	○個々のスケジュールを設置しているが、まだ不十分であると思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	○雨天時は、部屋を2か所使用し工夫している。また、晴天時、園庭や法人内散歩などいろんな空間を使用している	○危険な物はなるべく置かないようにしているが、片付けが間に合わずそのままになってしまうことに関しては職員同士連携して解決していきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		○スタッフ会議やモニタリングにて話し合い、振り返りを行っている(全体会議) ○ケース会議を月1回行っている ○業務改善については、会議等で話し合われています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		○保護者の意見に対して、話し合いをし、改善に努めています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	○少しずつ改善の努力をしてくれているように思います ○会議にて業務について話し合いを行っている	○業務改善に努めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		○2019、2022年に第三者評価を行い、業務改善につなげている	今後、第三者評価を再度受審するように体制を整えたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	○TEACCHプログラムにて研修を行っている ○コロナ禍を終え、機会が徐々に増えている ○外部研修に積極的に参加しています	○施設内・施設外の研修に参加できるように努めます
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		こどもや、保護者のニーズを取り入れ計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		○職員は会議録で把握している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	5領域を含めた、支援計画を作成、モニタリングやケース会議にて職員は情報共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	○現在、常勤職員のみが立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	○季節の行事など取り入れて行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		○個々の特徴や年齢など考慮し、活動に取り入れている（自立課題、体づくり）	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		○朝の申し送りにて打ち合わせを行っています ○毎朝ミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	○翌日の朝の申し送りで情報共有をしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		○日々の記録を行い、朝の申し送りや会議などで改善に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		○6か月に一度、見直しを行っています。また、必要に応じて計画書を作り直しも行っています（利用児の変化） ○月1回行い、職員で情報共有と対応を検討している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	○必要に応じて関係者会議を行っています ○サービス管理責任者が参加しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		○相談スタッフが介入しています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	年長児のみ実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	8	1		旭市こども発達と連携を図っている。相談事業より地域の児発の意見交換会を検討中
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9		ST・PT・心理士よりアドバイスを受けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	1	相談スタッフが参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		今後、検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		○送り、迎え時や行事等で保護者と話し合う機会を持っています ○お迎え時に今日の様子	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		○契約時に説明させていただいています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		○登園やお迎えの際、相談に応じている。必要に応じて専門スタッフに助言や支援につなげている ○健康診断の際、保護者の相談を受ける時間を設けている（公認心理士）	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	○特に保護者会はないが、行事等で保護者同士の連携を図っています	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		○登園時やお迎えの際に相談に応じている。必要に応じて専門スタッフの助言や支援につなげている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		○年4回おたよりを発行。その他、法人の広報誌や行事等はそのつど配布させていただいている。活動表は、月1回配布。 ○法人の広報が年4回、施設からのおたよりを年4回、来月の予定を毎月ご家庭に発送しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		○個人情報の取り扱いに気をつけています ○同意書を取り、ご家族に確認しています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		○利用児や保護者が理解できるように工夫しています。また、書類で提示しています。 ○障害のある子どもと意思疎通のため、絵カードなどを使用している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	○法人にて、年1回防災訓練やロザリオフェスティバルを開催予定 ○6月15日からだづくりの講習会を開催予定 ○地元説明会を行っています	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		○月1回、防災訓練を実施。、年1回は消防立ち合いで行い、法人全体として年1回行っている。マニュアルは回覧提示してます。 ○ご家族に感染マニュアルを配布しています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		○アセスメントで確認。お薬手帳のコピーをいただいている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	○現在は、食物アレルギーがある利用児はいませんが、契約時にアレルギーがあるか確認しています。また、アレルギー検査の結果をコピーさせてもらい、支援しています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画は作成済みです。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	○全体会議や書類回覧にて職員全員で情報を共有している ○毎月の会議で再確認と対策について話し合い	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		○虐待防止委員会を実施。研修動画を視聴している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		○身体拘束について、個別計画書に記載しています（保護者も確認済みです） ○虐待防止委員会にて決定しています	